

H22.12.5(日)

徳島新聞

がん予防のススメ Vol.6

大腸がんの

予防と治療



徳島大学病院
消化器移植外科 助教
西岡 将規氏

西岡 将規氏

大腸がんは、こ
の二十五年間で罹

患者は五倍、死亡数は四倍に増加していま
す。その予防は、加工肉の過摂取を避け和
食中心の食事、肥満にならない適度な運動
が重要です。検診は便潜血検査ですが、徳
島県の検診受診率は一〇・一％であり、全国
で二番目に低率です。

治療では低侵襲治療として内視鏡治療に
加え、腹腔鏡手術が普及し、最近では進行
がんにも適応できるようになりました。最
近は、肛門に近い大腸がんでは人工肛門を
回避し、局所再発を抑制するために術前に
化学放射線療法が行われることもあり、腹
腔鏡手術を併用するオンリーワンな治療も
可能です。

大腸がんは検診により早期発見を行い、
適切な治療を受
ければ、予後は
決して悪くあり
ません。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ

■徳島大学病院:Tel.088-631-3111

■がん診療連携センター:Tel.088-633-7312

■徳島がん対策センター相談窓口:Tel.088-633-9438